

ASIAGAP
(団体認証)

JGAP
(団体認証)

JAIいのまきGAP研究会

米
(25ha)

- ・ 所在地 : 宮城県石巻市
- ・ 構成員 : 11経営体
- ・ 発 足 : 平成30年 1月
- ・ 取 得 : 平成30年10月



CE: 平成30年5月完成

★GAP認証取得のきっかけ

- 販路拡大のため、精米の輸出
- カントリーエレベーター(CE)の建設
 - ・ 地域農業の生産拠点として、生産者から強い要望

★認証取得へのサポート体制

- JA主体の組織作りと人材育成
 - ・ JAが事務作業を担当
 - ・ 早期に責任者と担当者を決め、GAP指導員の基礎研修を実施
 - 生産者への指導・育成
 - ・ 初めから複雑なGAPの管理点等は説明しない
⇒ まずは、整理整頓と記帳から！
 - ・ JA営農センター職員が毎月、全農場を巡回し、記録書類の作成支援、改善指導等を実施
 - 管理マニュアル(農場管理・団体管理・CE管理)の作成
 - ・ 役割分担や取組事項等をまとめ、JA職員3名が作成
 - コンサルタントの活用
 - ・ GAPの適合基準の解釈
 - ・ 指摘事項に対し、生産者へ
- どこまでの改善を求めるか } アドバイスを受ける



H29.4~
事前準備



★GAP認証取得の効果

- 生産者の意識の向上と取組の広がり
 - ・ GAPの取組みによって、整理整頓や記帳が定着化してきた
 - ・ 研究会の会員以外の生産者にもGAPの取組への関心が波及
- 販路の拡大
 - ・ 平成30年産米142トン(25ha)を全量輸出(輸出先: シンガポール、台湾)

米の同時認証取得は
JAでは全国初!



輸出用米の
パッケージ

★今後の展開

- ・ GAPの取組の継続
- ・ 地域の米の輸出量と輸出先国の拡大
 - 〔・令和元年度産210トン(38ha)見込み〕
 - 〔・令和8年度産300トン(50ha)目標!〕



★お問い合わせ先

JAIいのまき 米穀課 TEL 0225-22-1180